

## 2. 魚類防疫体制整備事業費

### 1) 魚類防疫体制整備事業

山本充孝・二宮浩司・里井晋一

【背景】本県ではアユ養殖を中心にマス類、コイ類等の淡水養殖業が行われているが、魚病の被害が依然多発している。

【目的】養殖業における魚病被害の軽減と予防を図り、養殖経営の安定化と安全な食品生産に寄与する。

#### 【成果概要】

1. 全国魚類防疫推進会議(10月30日、3月6日)
2. 滋賀県魚類防疫会議(7月19日)
3. アユおよびニジマスのビブリオ病に係る防疫協議会(7月19日)
4. 魚類防疫講習会(2月26日)
5. アユ冷水病対策研究会第二分科会(11月15～16日)
6. 平成12年度魚病指導総合センターにおける魚病診断状況(表1)
  - ①アユ:平成12年度の診断件数は83件と昨年度の64件と比べて増加した。アユの診断件数が増加した原因としては昨年度と比べシュードモナス病の診断が多かったことによると思われる。  
診断状況を見ると冷水病やシュードモナス病が多く、両疾病は、混合感染を含めると全診断に占める割合は冷水病が56.6%、シュードモナス病が27.7%を占めた。
  - ②コイ・フナ類:平成12年度の診断件数は10件で、昨年度の6件と比べ若干増加した。カラムナリス病等が診断された。
  - ③マス類:平成12年度の診断件数は28件と昨年度の9件と比べて大幅に増加した。これは、昨年度まではほとんど診断されていない冷水病が多く診断されたことによると思われる。ただし、この冷水病原因菌は薬剤感受性の傾向がアユの場合と異なることから、アユ由来の冷水病原因菌とは異なるタイプと思われる。その他、ウイルス性疾病およびせつそう病が多くみられた。
7. 医薬品残留総合点検  
簡易検査(水産試験場で実施)
  - アユ: 20検体=4業者(残留抗生物質検出せず)
  - ニジマス: 13検体=4業者(残留抗生物質検出せず)

【成果の活用】魚病発生時に原因の究明、薬剤感受性等魚病診断を実施し、その結果を速やかに伝達することにより魚病被害の軽減を図る。

表1. 滋賀県魚病指導総合センターにおける平成12年度魚病診断状況(診断件数)

項目		月												合計	割合 (%)		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
ア ユ	ナグビブリオ病						1									1	1.2
	ナグビブリオ病+冷水病															0	0.0
	冷水病		2	8	2	2				3	6	1	6			30	36.1
	細菌性鰓病									1						1	1.2
	シュードモナス症		3	3	1						4		5			16	19.3
	シュードモナス症+冷水病				2						1		3			6	7.2
	シュードモナス+ギロダクチルス															0	0.0
	冷水病+ギロダクチルス	1			1								1			3	3.6
	冷水病+カラムナリス病				2				1							3	3.6
	カラムナリス病				1											1	1.2
	エロモナス症+冷水病										1					1	1.2
	ギロダクチルス+真菌性肉芽腫症						1									1	1.2
	冷水病+真菌性肉芽腫症					1										1	1.2
	冷水病+シュードモナス+水カビ病		1													1	1.2
	冷水病+水カビ病		1											1		2	2.4
	ギロダクチルス+カラムナリス						1									1	1.2
	水カビ病		1	2	1					1						5	6.0
	ギロダクチルス症						1									1	1.2
	トリコディナ症		1				1									2	2.4
	トリコディナ症+ギロダクチルス								1							1	1.2
健康診断												1	1		2	2.4	
不明			1								1		2		4	4.8	
小計		1	9	14	10	3	5	2	0	6	12	2	19		83	100.0	
コ イ ・ フ ナ 類	カラムナリス病			1	1										2	20.0	
	エロモナス症			1											1	10.0	
	トリコディナ症														0	0.0	
	キロドネラ症			1											1	10.0	
	イクチオボド症														0	0.0	
	感染症ではない							1	1	1					3	30.0	
	不明				1			2							3	30.0	
小計		0	1	2	2	0	3	1	1	0	0	0	0	10	100.0		
マ ス 類	IHN										1				1	3.6	
	ウイルス性疾病	1											1	1	3	10.7	
	冷水病+IHN			1	1										2	7.1	
	冷水病				1							1	1		3	10.7	
	冷水病+ウイルス性疾病											2			2	7.1	
	冷水病+細菌性鰓病											1			1	3.6	
	せつそう病	2			1	1									4	14.3	
	カラムナリス病+キロドネラ症					1									1	3.6	
	連鎖球菌症+イクチオフォス														0	0.0	
	水カビ病+ウイルス性疾病												1		1	3.6	
	水カビ病											2			2	7.1	
	不明	1		3		3				1					8	28.6	
小計	4	0	4	3	5	0	0	0	2	2	6	2		28	100.0		
合計	5	10	20	15	8	8	3	1	8	14	8	21		121			